

【緊急警告】14日のエクストリーム・スーパームーンで巨大地震発生の可能性！ 前例多数、科学者もガチで危惧するヤバい事態

ツイート

いいね！ 350

ブックマーク

0



[拡大写真]

それによると、1万件以上の地震データを検証した結果、M8.2以上の巨大地震12例のうち9例で、地球潮汐が最大となる「大潮」の日に起きていることが判明したという。大潮とは潮の干満の差が大きい状態のことだが、これは通常1カ月に2回、満月と新月のタイミングで発生する。



東大の研究によれば、月の引力が特に強くなる大潮の時期には、潮汐によって海底の地殻プレートに多大な力がかかり、そこに太陽や月の引力が加わることによって大地震が起こりやすくなるのではないかと。

また、2年前の記事でも紹介したが、2012年12月には防災科学技術研究所（NIED）の田中佐千子研究員が、「東日本大震災は月や太陽による引力が『トリガー』となった可能性が高い」ことを示唆した研究も発表されている。

■ 前例多数、やはり14日は危ない！

では、今月14日のエクストリーム・スーパームーンの時には、特に大地震が起こる危険性が高まるのだろうか？ もちろん、月が地球に最接近して引力が特に強くなるということなので、その可能性はありそうだ。

実は、2014年8月11日のエクストリーム・スーパームーンの前日には、青森県東方沖でM6.1の大きな地震が起きている。そこで今回、大地震との関係をより深く検証するためにも、過去のエクストリーム・スーパームーンの前後、あるいは満月・新月の頃にM6以上の大地震、特にM8以上の巨大地震が起きた例について筆者は独自に調べることにした。...



[拡大写真]

その結果を以下に示す。行頭の **TOCANA**
 【エ】はエクストリーム・スー
 パームーン、【ス】はスーパームーン、【満】は満月、
 【新】は新月を示す。

- ・ 【新】 1854/12/23 → (翌日) 12/24 安政南海地震 (M8.4)
- ・ 【新】 1946/12/19 → (2日後) 12/21 昭和南海地震 (M8.0)
- ・ 【エ】 1948/01/26 → (前日) 1/25 フィリピン、パナイ島 (M8.2)
- ・ 【新】 1960/05/23 → (前日) 5/22 チリ地震 (M9.5)
- ・ 【新】 1994/10/05 → (翌日) 10/5 北海道東方沖地震 (M8.2)
- ・ 【満】 1995/01/17 → (当日) 1/17 阪神・淡路大震災 (M7.3)
- ・ 【新】 2003/09/26 → (当日) 9/26 十勝沖地震 (M8.0)
- ・ 【ス】 2005/01/10 → (2週間前) 2004/12/26 スマトラ島沖地震 (M9.3)
- ・ 【ス】 2010/02/28 → (1日前) 2/27 チリ・マウレ地震 (M8.8)
- ・ 【ス】 2011/02/18 → (4日後) 2/22 ニュージーランド、カンタベリー地震 (M6.1)
- ・ 【エ】 2011/03/19 → (8日前) 3/11 東日本大震災 (M9.0)、(7日前) 3/12 長野県北部 (M6.7)、(同) 3/15 静岡県東部M6.4、(5日後) 3/24 ミャンマー (M6.8)
- ・ 【エ】 2014/08/11 → (8日前) 8/3 中国雲南省 (M6.5)、(前日) 8/10 青森県東方沖 (M6.1)
- ・ 【ス】 2015/07/31 → (3日前) 7/28 ニューギニア (M7.0)

このように、(エクストリーム) スーパームーンの前後に巨大地震が起きている例は少なくないのだ。...



[拡大写真]

このリストには、新月・満月の **TOCANA**
 時にM8.0以上の巨大地震が起き
 た例も加えてあるが、すべてが偶然だと考えるのは無理があるだろう。また、特筆すべき点を一点加えるならば、(エクストリーム) スーパームーンの前1週間前の下弦および2週間前の新月の前後にも、大きな地震が起きているようだ。

では、今月14日の2週間前を考えてみよう。10月31日、新月だった。そのタイミングで大きな地震が起きていたかということ、前日の10月30日にイタリア中部でM6.6の地震が起きているのではないか。やはり、68年ぶりに月の引力が特別に強くなるという14日前後は、大きな地震に十分警戒しておくに越したことはないだろう。

(文：百瀬直也)